



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年4月20日 第7号

発行者：校長 菅野 定行

本格的な授業開始 ～創意工夫～

入学式、始業式以降スタディサポートや身体測定ほか各種検診、進路調査など慌ただしい日々が続いていましたが、ここに来て一段落。皆さんの学習活動が本格始動です。

授業の様子を廊下から窺うと、映写機を用いた「ICT型」授業を行う先生方がいます。ICT環境が整っているわけではありませんが、先生方は限られた機器を活用して、五感に訴えかけるダイナミックな授業を展開しています。

また、パワーポイントを用いる代わりに、「板書内容をプリントにまとめて配付し、生徒はそれを切ってノートに貼り、その上にメモを書き込む」といった工夫を凝らした授業もありました。

英語の授業ではペアワークやグループワーク、そして発表の光景を目にするのが珍しくありませんが、西高は他教科でも行われていました。

授業の主役は一人一人の生徒の皆さんです。西高の先生方の授業には皆さんを主役にするような創意工夫があります。是非、主体的に学び、自分の考えを堂々と表現してみてください。



〈3年生 寺下先生 現代文のペアワーク〉



〈2年生 内山先生 日本史のパワーポイント〉

朝読書始まる ～朝の習慣～

4月18日(水)8:40から10分間、「朝の読書」(通称「朝読」)が始まりました。西高では通年の取り組みになってから15年目、2・3年生の皆さんにとっては朝の習慣としてすっかり生活の一部になっているのではないかと思います。

朝読書の目的は「心を落ち着けて学校生活に臨める」「集中してじっくりと活字に向き合うことで学ぶ姿勢を整えられる」があげられます。

朝読書には四原則があります。①みんなでやる。②毎日やる。③好きな本でよい。④ただ読むだけ。一体感や継続性、主体性が養われ、経済的でもあります。

朝の読書の実践によって静寂と集中の時間が生まれ、静かに朝のSHRが迎えられ、授業にもスムーズに入れるようになります。生徒アンケートからは「語彙が増え、物事を深く考えられるようになった」「気持ちにゆとりができて、物事を冷静に考えられるようになった」「自分の好きな本を読めて楽しいし、ストレス解消にもなる」といった意見が寄せられました。

今後、社会に出て行く皆さんにとって、時間を守るために、事前に準備を始めることは常識ですよね。8時40分から自主的に「朝読」を始めるためには、どれくらい前に教室に入って準備を始めればよいか、それぞれ逆算してみてください。(総務・図書部「朝読を始めるにあたって」より抜粋)

全校応援練習 ～チーム西高～



4月18日(水)お昼休み時間、中庭からベランダの全校生徒に向け応援練習がありました。今週末から野球部の支部春季大会、ソフトボール部の県選抜大会等、運動部の大会も本格的に始まります。総体に向け「チーム西高」で頑張ってください。皆さん応援しましょう。